

教科「地歴公民」

科目「課題日本史」

(3年次文型、課題世界史との選択)

単位数	4単位
担当者	庄司 優子
教科書	改訂版 詳説日本史B(山川出版社)
副教材等	最新日本史図表(第一学習社) 新編 史料日本史(とうほう) 必携日本史用語集(実教出版)

【1】科目の目標

日本の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察できる。日本の歴史や伝統と文化の特色についての認識を深めて、歴史的視点から様々な社会事象を思考することができる。

【2】科目の内容と進め方

- 1学期：古代から中世の日本史の展開を考察する。
- 2学期：近世から近代の日本史の展開を考察する。
- 3学期：日本史の全体像を、テーマ史の視点を入れながら考察する。

【3】学習形態

教室で授業を行う。一斉、グループ、ペア、個人など、様々な学習形態で学ぶ。

【4】学習上の留意点

高校の日本史学習で重要なことは、何が起こったかという歴史事象の内容理解でとどまらずに、なぜそのような事象が起こったのか、どんな根拠からその事象が証明できるのかという、歴史的思考力・判断力を養うことが重要である。そのため、「なぜ」をスタートに、自ら様々な学習資料を読み解き、そこからわかることを自ら論理的に組み立てていく学習姿勢が求められる。授業でも予習・復習でも、この姿勢をもって取り組むことが重要である。

【5】評価の方法と評価の観点

① 評価の観点

- 1 関心・意欲・態度：各時代の歴史事象についての関心を強め、現代とのつながりも意識しながら歴史事象の意味を主体的に考察しようとしたか。
- 2 思考・判断・表現：歴史の推移を因果関係に基づいて追究し、根拠を示して歴史の展開を説明できたか。
- 3 資料活用 of 技能：各種資史料を読み解き、資史料を活用して歴史事象を分析・説明できたか。
- 4 知識・理解：各時代の特色や歴史の展開を、歴史的背景や因果関係と関連付けて理解できたか。

② 評価の方法

- ・授業での学習活動の様子、学習活動シート（ふり返りを含む）、演習課題への取り組み状況から、主体的に学習しようとする態度を評価する。
- ・定期考査や課題テストから、歴史的な思考力、内容の理解、資史料の読解力等を評価する。
- ・論述課題では、学習したことを活かして歴史事象や歴史の推移について根拠を示して筋道立てて表現できたかを評価する。また思考を深める中で現代の課題とつながる点を追究できたかを評価する。

【6】その他

なし